

第18回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会

資料

資料1	花粉の少ない森づくりの主要な取組	P1～3
資料2	多摩産材等利用拡大の取組状況	P4～7
資料3	試験・研究・調査	P8～9
資料4	総合的な花粉症予防・治療対策の推進	P10～14
資料5	花粉の少ない森づくり運動の取組状況	P15～18
資料6	花粉の少ない森づくり運動の今後の展開（案）	P19～22

	令和4年度の実績	令和5年度の取組状況
花粉発生源対策	<p>○ スギ・ヒノキ林の伐採</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伐採実施面積 <u>60ha</u> ・ 平成18年度～令和4年度伐採実施面積（累計） <u>748ha</u> <p>○ 間伐・水の浸透を高める枝打ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐実績 <u>481ha</u>、枝打ち実績 <u>97ha</u> ・ 平成18年度～令和4年度間伐実績（累計） <u>9,090ha</u> 枝打ち実績（累計） <u>2,487ha</u> <p>○ 貯木場（青梅市新町）の 管理運営</p>	<p>○スギ・ヒノキ林の伐採</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伐採予定面積 80ha <p>○ 間伐・水の浸透を高める枝打ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐予定面積 625ha、枝打ち予定面積 120ha <p>○ 貯木場の管理運営</p>



主伐事業地



貯木場

令和4年度の実績

○ 多摩産材の利用拡大

- ・ 公共施設木質空間創出事業 (令和元年度～)
- ・ 公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト (平成30年度～)
- ・ 中・大規模木造建築物等の木造木質化設計、施工支援事業 (令和2年度～)
- ・ 多摩産材販売促進事業 (令和2年度～)
- ・ 多摩産材利用啓発推進事業 (平成24年度～)
- ・ 木の街並み創出事業 (令和元年度～)
- ・ 保育園等による木育活動の支援事業 (令和元年度～)
- ・ 木育体験プログラム (令和元年度～)
- ・ ウッドシティTOKYOモデル建築賞 (平成30年度～)
- ・ にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業 (平成28年度～)
- ・ 国産木材の魅力発信拠点MOCTION (モクション) の運営 (令和2年度～)
- ・ WOODコレクション2023 ・ JAPAN ReWOOD
- ・ 多摩産材情報センターの管理・運営 (平成26年度～)
- ・ 木材利用ポイント事業 (令和4年度～)
- ・ とうきょう森づくり貢献認証制度 (平成24年度～)

○ 国際的な森林認証の取得

- ・ (公財) 東京都農林水産振興財団の管理森林においてSGEC森林認証の運用
- ・ 民間事業者の補助実績 (新規及び更新・維持)
森林管理認証0件、CoC認証18件

令和5年度の取組状況

○ 多摩産材の利用拡大

※資料2参照

- ・ 公共施設木質空間創出事業
- ・ 公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト
- ・ 中・大規模木造建築物等の木造木質化設計、施工支援事業
- ・ 多摩産材利用啓発推進事業
- ・ 木の街並み創出事業
- ・ 保育園等による木育活動の支援事業
- ・ 木育体験プログラム
- ・ ウッドシティTOKYOモデル建築賞
- ・ にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業
- ・ 国産木材の魅力発信拠点MOCTION (モクション) の運営
- ・ とうきょうの木魅力発信拠点「TOKYO MOKUNAVI」の開設・運営
- ・ WOODコレクション2024 ・ JAPAN ReWOOD
- ・ 多摩産材情報センターの管理・運営
- ・ 木材利用ポイント事業
- ・ とうきょう森づくり貢献認証制度

○ 国際的な森林認証の取得

- ・ (公財) 東京都農林水産振興財団の管理森林においてSGEC森林認証の運用
- ・ 民間事業者の都内森林管理認証やCoC認証の取得及び維持に要する費用の支援

令和4年度の実績

- 花粉飛散時期のPR(令和5年春) ※資料5参照
- 花粉の少ない森づくり募金

募金実績	23, 214, 866円	}	令和4年度
(累計)	544, 529, 299円		
- 花と緑の東京募金
(花粉の少ない森づくり分)

募金実績	3, 143, 942円	}	(累計)
(累計)	174, 164, 652円		
- 「企業の森」協定締結
 - ・ 1箇所
平成19年度～令和4年度 (累計) 37箇所 (78.3ha)
- 森づくり支援倶楽部
 - ・ 個人会員 計162名 法人会員 21団体
- 九都県市共同での取組を推進
(平成30年3月に第2期10ヵ年計画策定)
 - ・ 花粉発生源対策としての森林整備の推進
 - ・ 地域材利用の推進
 - ・ モニタリング (飛散量測定及び患者数調査)

令和5年度の取組状況

- 花粉飛散時期のPR(令和6年春) ※資料6参照
- 花粉の少ない森づくり募金

募金実績	12, 309, 410円	}	12月末時点
(累計)	12, 309, 410円		
- 花と緑の東京募金
(花粉の少ない森づくり分)

募金実績	12, 309, 410円	}	(累計)
(累計)	12, 309, 410円		
- 「企業の森」協定締結
 - ・ 0箇所 / 0団体 (新規・延長)
- 森づくり支援倶楽部
 - ・ 個人会員 167名 法人会員 6団体 (12月末時点)
- 九都県市共同での取組を推進
 - ・ 花粉発生源対策としての森林整備の推進
 - ・ 地域材利用の推進
 - ・ モニタリング (飛散量測定及び患者数調査)

公共利用の促進

◆公共施設木質空間創出事業(令和元年度～)

美術館・博物館等の都関連施設において、見て触れることのできる場所やPR効果の高い場所で多摩産材を用いた什器等を積極的に利用

○実績及び予定

実績：東京しごとセンター、東京芸術劇場、東京都庭園美術館、都営地下鉄各駅、武蔵野の森総合スポーツプラザ、夢の島公園アーチェリー場、海の森水上競場、カヌースラロームセンター、東京国際クルーズターミナル、多摩産業交流センター、東京アクアティクスセンター、東京都パラスポーツトレーニングセンター等

予定：都立墨東病院、ガブテック東京、島しょセンター大島事業所等



◆公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト(平成30年度～)

区市町村施設の木造、内装木質化、木製什器の導入、木製遊具の整備、外構の整備を支援

○実績及び予定

実績：(令和4年度)中野区、江東区、中央区、品川区、三鷹市、八王子市、昭島市、羽村市、檜原村、武蔵野市、東大和市、あきる野市、国立市、瑞穂町

予定：(令和5年度)江東区、品川区、中野区、三鷹市、東久留米市、東大和市、瑞穂町、日野市、八王子市、あきる野市、福生市、大島町、神津島村 他



民間利用の促進

◆木材利用ポイント事業(令和4年度～)

多摩産材を一定量以上使用した住宅を新築・リフォームした方を対象に、東京ゼロエミ住宅認証書を取得していることなどを要件として、東京の特産物等を交換できるポイントを交付し、多摩産材の需要拡大を促進

◆中・大規模木造建築物の木造木質化支援事業(令和2年度～)

都内に建築を計画する民間施設において、木造木質化の設計・施工にかかる経費の一部を補助し、中・大規模建築物での新たな木材需要を創出

民間利用の促進

- ◆木の街並み創出事業(令和元年度～)
- ◆保育園等による木育活動の支援事業(令和元年度～)
- ◆木育体験プログラム(令和元年度～)
- ◆ウッドシティTOKYOモデル建築賞(平成30年度～)
- ◆にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業(平成28年度～)
- ◆多摩産材利用啓発推進事業(平成24年度～)

木の街並み創出進事業
(木場公園 kibaco)



認証制度

◆国際的な森林認証の取得

近年のSDGsへの関心の高まりや、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、今後の取引に認証材を求められることが増えると予想されるため、多摩産材を取扱う事業者による森林認証の更なる取得を推進

※森林認証…適正に管理された森林から産出された木材であることを第三者機関が認証する制度

- (公財)東京都農林水産振興財団管理森林における森林認証の取得
平成28年3月にSGEC森林認証を取得(令和5年6月時点:958.75ha)
- 農林水産物認証取得支援事業

森林管理者・製材・木材加工流通事業者等への都内森林管理(FM)認証やCoC(木材加工流通過程の管理)認証の取得及び維持に要する費用を支援し、認証の維持及び認証取得の拡大を推進

◆多摩産材認証制度(平成18年度～)

森林所有者から販売事業者に至る多摩産材の流通過程の関係事業者が登録する認証制度を支援

◆とうきょう森づくり貢献認証制度(平成24年度～)

森づくり活動の実施や、多摩産材を利用した企業や都民等の方々に対し、東京の森づくりへの貢献と、二酸化炭素吸収量及び二酸化炭素固定量を認証

情報発信

◆JAPAN ReWOOD(令和4年度～)

多摩産材を含む日本各地の地域材を活用した家具、小物等、消費財の製品展示会を開催

○開催状況

令和4年度：令和4年8月24日～26日

20都道県連携 出展者：73社・団体 来場者：1,474人

令和5年度：令和5年8月18日～20日

26都道県連携 出展者：約120社・団体 来場者：6,257人

JAPAN ReWOOD



◆WOODコレクション(モクコレ)(平成27年度～)

多摩産材を含む日本各地の地域材を活用した建材や家具などの製品展示会を開催

○近年の開催状況

・WOODコレクション2023

令和5年1月31日～2月1日

39都道府県連携 出展者：約250社・団体 来場者：6,297人

・WOODコレクション2024

令和6年1月11日・12日

39都道府県連携 出展者：約300社・団体 来場者：5,293人

WOODコレクション2023



◆国産木材の魅力発信拠点MOCTION(モクション)の運営(令和2年度～)

多摩産材をはじめとした国産木材の魅力と木材利用の意義を民間企業等へ発信する拠点を開設し、共存共栄の視点から国産木材の更なる利用を推進

- ・多摩産材等によるオフィス空間木質化等の常設展示
- ・各道府県向けにレンタルスペースを貸出し、各地の木材を発信
- ・オフィス内装木質化やCLT普及などのセミナーを開催

MOCTION



情報発信

◆とうきょうの木魅力発信拠点「TOKYO MOKUNAVI」の開設・運営(令和5年度～)

とうきょうの木に関する情報発信拠点を新たに開設し、都心部において建築事業者や都民向けに情報発信を行うことで、多摩産材の更なる利用を推進

- ・とうきょうの木製品の常設展示
- ・多摩産材活用に関する相談受付
- ・多摩地域の森林、事業者のご紹介
- ・多摩産材に関するセミナーやワークショップの開催

TOKYO MOKUNAVI



◆多摩産材情報センターの管理・運営(平成26年度～)

多摩産材の製品情報や調達方法などに関する問い合わせ窓口として開設
多摩産材の利用者（工務店、設計事務所等）と供給者（製材所等）とのマッチングやコーディネート、利用相談等を実施。（公財）東京都農林水産振興財団に運営を委託

多摩産材情報センター



令和4年度 相談件数及び相談者内訳（開所からの累計）

計	行政機関		民間			
	都	区市町村	施工業者	設計関係	発注元企業等	都民等
203 (2,419)	7 (199)	16 (232)	17 (344)	18 (243)	120 (1,018)	25 (383)

○低コスト森林施業の推進(R1～R8)

少花粉スギのコンテナ苗を植栽し、従来の植栽苗（裸苗）との成長等の違いを調査している。R4年度までの調査で、コンテナ苗は、裸苗と比較して、植栽現場での保管期間が一定程度長くなっても活着率や生長への影響が出にくいという結果が得られている。引き続き生育状況調査を行う。



森林に植栽したコンテナ苗
(少花粉スギ)

○都産無花粉スギ採種園造成のための技術確立 (R5～R9)

多摩地域に適した無花粉スギの供給を目指し、東京都の精英樹の性質を有する成長等が優良な無花粉スギをR4年度までに4個体選抜し、林木育種センターにて優良個体として認定された。R5年度からは採種園造成のための交配技術の確立と、多様性確保のための新たな無花粉スギ個体を選抜する。



優良個体候補の無花粉スギ

○少花粉スギならびに少花粉ヒノキにおける種子の生産性向上試験(R2～R6)

少花粉スギ、少花粉ヒノキの種子増産を目指し、種子の発芽率向上、種子をより多く生産できる品種の選抜等に取り組んでいる。

R4年度までに、採種木や採種枝への袋かけによる害虫防除により、スギ種子の発芽率が高まる結果が得られている。



種子を採取する採種園（少花粉スギ）

○花粉症対策品種の円滑な生産支援※のための調査(R2～R6)

ヒノキ花粉症対策品種のミニチュア採種園の管理手法を確立し、採種園関係者への技術指導を行う。

若齢採種木で着花が難しいヒノキにおける着花促進手法や、種子発芽率を低下させる害虫の防除手法を確立する。



着花促進処理（少花粉ヒノキ）

※花粉発生源対策推進事業（林野庁補助事業）の一部。

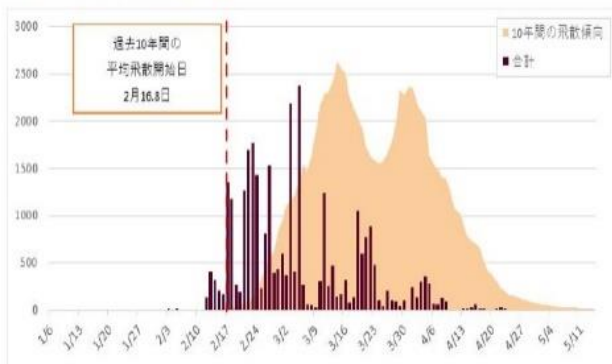
■ 予防・治療のための情報提供(ホームページ)

□ 東京都アレルギー情報navi. 〈東京都の花粉情報〉

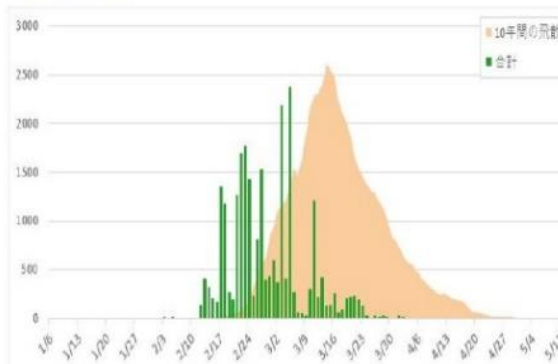
- アレルギー疾患に関する総合サイト「東京都アレルギー情報navi.」で「東京都の花粉情報」を提供
- シーズン毎におけるスギ・ヒノキの花粉飛散予測を公表
- 都で観測した飛散花粉の結果をグラフ表示
- 花粉の基礎知識や花粉症の予防対策、舌下免疫療法等を掲載



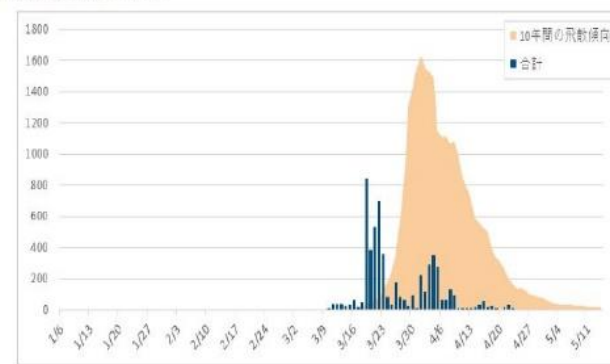
スギ・ヒノキ花粉の合計の飛散状況 (個/cm³)



スギ花粉の飛散状況 (個/cm³)

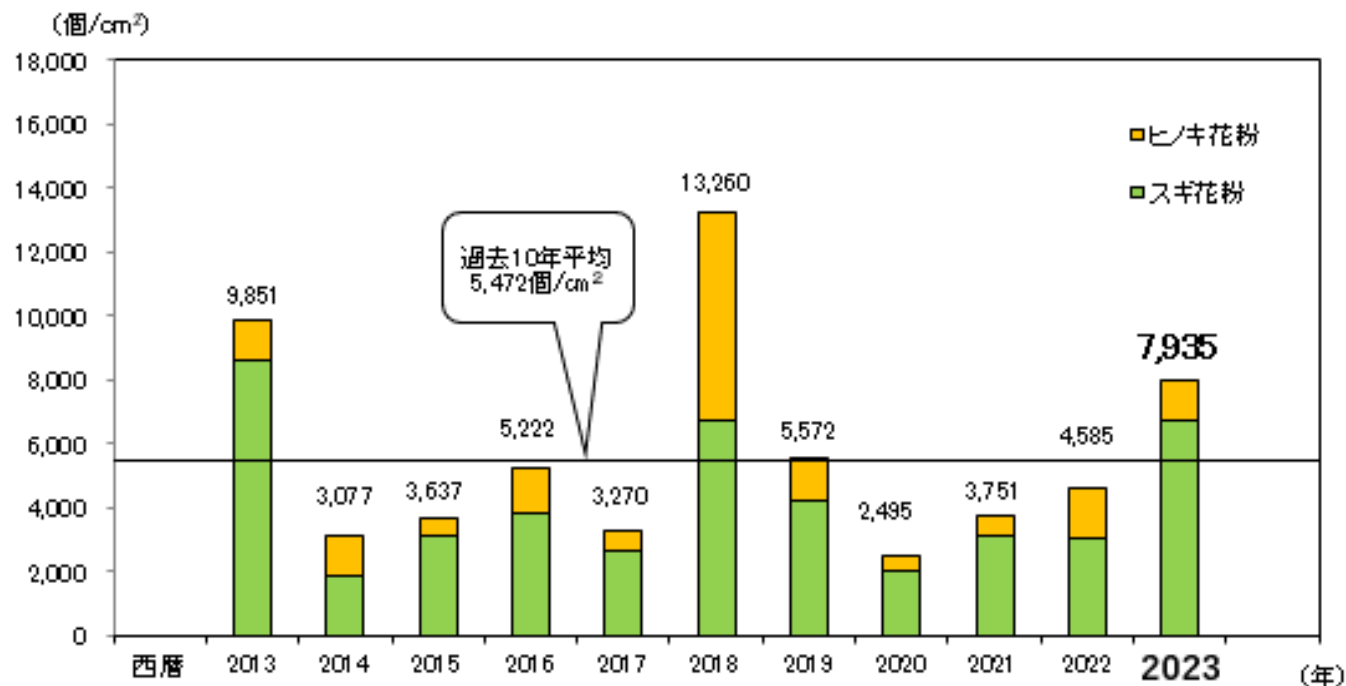


ヒノキ花粉の飛散状況 (個/cm³)



■ 2023年春の花粉観測結果(スギ、ヒノキ花粉)

- 2023年春のスギ・ヒノキの飛散花粉数は2022年春の1.7倍、過去10年間平均の1.5倍
- スギの飛散花粉数は過去10年平均の1.7倍、ヒノキの飛散花粉数は過去10年平均の8割
- 東京都アレルギー情報navi. <東京都の花粉情報>で飛散花粉数の花粉観測結果を公表



都内観測地点12か所のスギ・ヒノキ飛散花粉数の平均

■ 2024年春の飛散花粉予測 (R6.1.17 報道発表: 東京都花粉症対策検討委員会検討結果)

I 飛散開始日の予測

2月8日から12日ごろとなり、例年(過去10年平均)より、やや早くなる見込みです。
なお、飛散開始日以前にも少量の花粉が飛散しています。※過去10年平均は2月15日ごろ

II 飛散花粉の総数の予測 (図1)

都内(12地点)では2023年春の8割程度、例年(過去10年平均)の1.1倍程度となる見込みです。
過去10年のうち、2018年に次いで2番目に多く飛散した2023年春は下回りますが、
区部・多摩地域ともにほぼ例年並みに飛散する予測となりました。

III 飛散花粉の多い日の予測

飛散花粉数が「多い」に分類される1日当たり30個/平方センチメートル以上飛散する日数は、区部で35日程度、
多摩地域で40日程度となり、2023年春よりも同程度か、やや少なくなる見込みです。

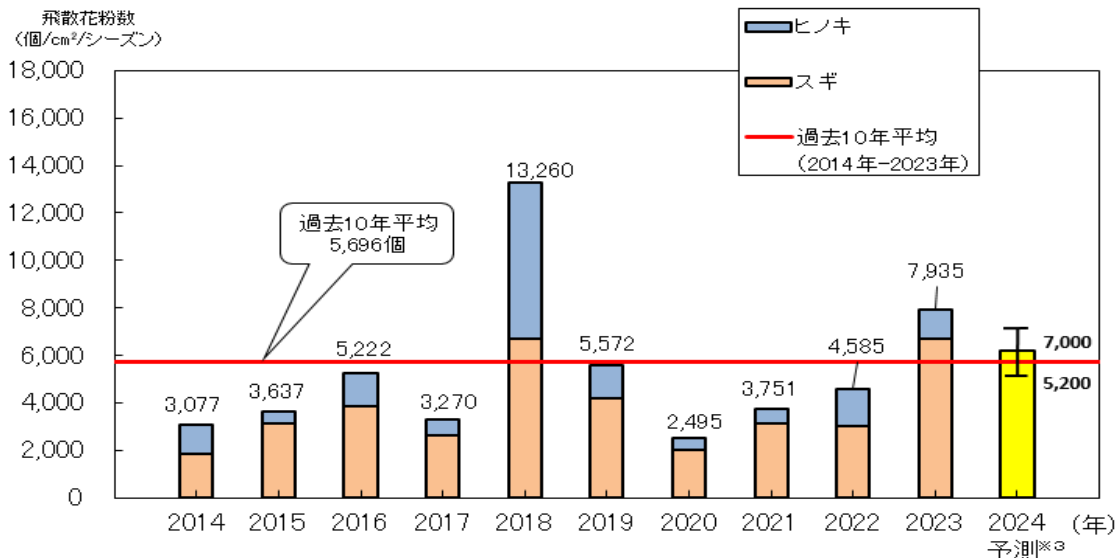


図1 飛散花粉数の経年変化 (都内12地点平均)

※3 スギ・ヒノキ飛散花粉数は、前年夏の日射量や秋のスギ花芽の着花状況などによって予測しています。予測値は、スギとヒノキの合計値です。

■ 花粉症患者実態調査 (平成28年度)

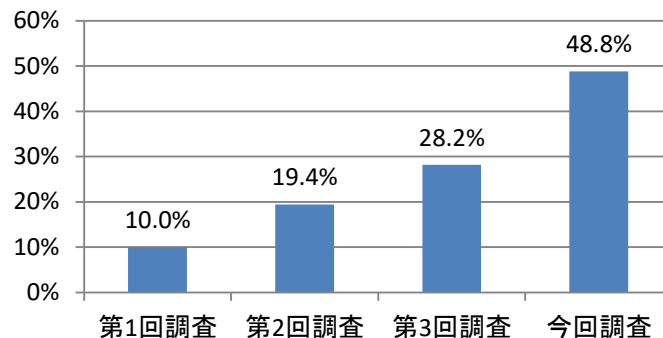
○主な調査内容

- ・ アンケート調査 (平成28年11月～12月)
今春の鼻炎症状の有無、発症年齢、予防対策、都の花粉症対策への希望等
- ・ 花粉症検診 (平成29年3月)
鼻鏡検査、症状等の問診及び血液検査

○調査結果 (概要)

- ・ 都内のスギ花粉症有病率※は、48.8%
※何らかの治療や対策が必要な患者の割合ではなく、日常生活に支障がない軽症の方も含んだ有病率
- ・ 年齢区分別のスギ花粉症推定有病率は、全年齢層で前回調査より上昇
- ・ セルフケアや医療機関を受診すれば日常生活に支障はない方が約6割

都内のスギ花粉症推定有病率の推移



※各回の調査では有病判定の基準や推計方法に一部変更点があるため、推定有病率の変化を単純に比較することはできない。
【調査実施年度】
第1回調査：昭和58年度～昭和62年度
第2回調査：平成8年度、
第3回調査：平成18年度、
今回調査：平成28年度

■ 普及啓発

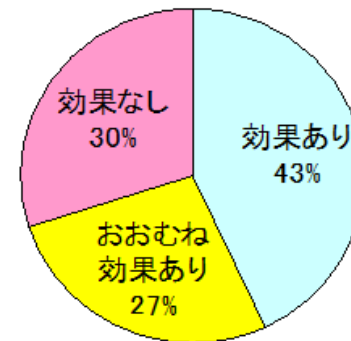
- 「花粉症一口メモ」を作成・配布
 - ・ 保健所や市町村を通じて都民に配布
 - ・ 花粉症の基本的知識や自己管理の方法を掲載
 - ・ 花粉飛散の仕組みや都が提供している花粉情報についても紹介



■ 舌下免疫療法

研究実施機関 (公財) 東京都医学総合研究所

- 平成18～20年度にかけて、有効性を確認する臨床研究を実施
⇒平成26年10月8日 製薬メーカーより販売
- 平成27年度より、花粉症患者血液を用いて、舌下免疫療法の治療効果の有無を予測するバイオマーカーの実用化研究を実施



治療の効果判定

■ 東京都アレルギー疾患対策推進計画(令和4年3月改定)

- アレルギー疾患対策を総合的に推進することを目的に、「アレルギー疾患対策基本法」が平成27年12月に施行
- 花粉症は、この法律における「アレルギー疾患」の一つとして定義
- 国や地方公共団体が取組むべき施策等を示した「アレルギー疾患対策推進に関する基本指針」が令和4年3月に改正(平成29年3月告示)
- 法に基づき、花粉症対策も盛り込んだ「東京都アレルギー疾患対策推進計画」を令和4年3月に改定(平成30年3月策定)

都民、企業等から幅広く協力を得るため、「花粉の飛散時期のPR活動」、「募金等」を実施

● 花粉飛散時期のPR活動(令和5年春)

◇ イベントの開催

- ・ TAKAO 599 MUSEUM (パネル展示、木工教室)
- ・ クライミング施設CARAMBAでのアクセサリーづくり (木工教室)

◇ 関連イベントへの参加

- ・ あきしま環境緑化フェスティバル (昭島市役所)
パネル展示、木工教室ほか
- ・ 東京マラソンEXPO2023 (東京ビッグサイト)
パネル展示、記念品配布ほか

◇ 駅貼ポスター

- ・ 都営地下鉄10駅 (巣鴨駅、大手町駅、新宿駅、
大門駅、勝どき駅、神保町駅、市ヶ谷駅、
泉岳寺駅、三田駅、日本橋駅)

◇ デジタルサイネージによる動画及び静止画の掲出

- ・ 都庁第一本庁舎2階エントランスロビー (動画)
- ・ 新宿駅西口地下広場 (動画) 及び地下通路 (静止画)
- ・ 西新宿エリア内のサイネージ型スマートポール (静止画)



【令和5年5月27日】
クライミング施設CARAMBAでの
アクセサリーづくり



【令和5年5月14日】
あきしま環境緑化フェスティバル

花粉の少ない森づくり運動の取組状況

都民、企業等から幅広く協力を得るため、「花粉の飛散時期のPR活動」、「募金等」を実施

● 花粉飛散時期のPR活動(令和5年春)

- ◇ PRブース・ポスター等の設置
 - ・ TAKAO 599 MUSEUM
 - ・ 檜原 森のおもちゃ美術館
 - ・ 山のふるさと村(奥多摩町)
 - ・ 木材会館(江東区)
 - ・ 木材・合板博物館(江東区) 【常設展示】

- ◇ 都庁第一本庁舎1階中央部アートワーク台座でのパネル展示



新宿駅西口地下広場
大型デジタルサイネージ

● 年間を通したPR活動

- ◇ 東京マラソンの森 記念植樹イベント
植樹体験、トレイルランニング、紅葉ウォーキング

- ◇ 東京農林水産フェアでのPR
木工体験イベント、丸太切りチャレンジほか

- ◇ YouTube「東京森づくりチャンネル」での動画配信

- ◇ PR冊子「企業の森電子かわら版」の発行



YouTube 「種づくり(後編)」
(東京森づくりチャンネル)

花粉の少ない森づくり運動の取組状況

都民、企業等から幅広く協力を得るため、「花粉の飛散時期のPR活動」、「募金等」を実施

●「募金等」

令和4年度 26,358,808円 累計 718,693,951円

◇ 花粉の少ない森づくり募金

令和4年度実績 23,214,866円 (累計544,529,299円)

(内訳)

企業の森	12,103,530円
東京マラソンチャリティ	5,102,986円
パスモ電子マネーによる募金	3,542,927円
一般募金など	2,465,423円

◇ 花と緑の東京募金※

(花粉の少ない森づくり)分

令和4年度実績 3,143,942円

令和4年度末の累計 174,164,652円

※平成28年度6月までは「緑の東京募金」

◇ 企業の森

○森づくり協賛企業による森林整備の推進

- ・ 協賛企業による森づくり費用等相当分の寄付
- ・ 森林整備による環境貢献
- ・ 花粉の少ない森づくり基金への募金

○令和4年度 新規協定締結 1団体
(リコーリース 株式会社)



第37号

「リコーリースグループ豊かな未来への森・
企業の森（日の出）」

花粉の少ない森づくり運動の取組状況

都民、企業等から幅広く協力を得るため、「花粉の飛散時期のPR活動」、「募金等」を実施

●「募金等」

◇ 森づくり支援倶楽部

○会費の一部を森林整備に充当
 会員数 (R5. 3 月末)
 個人162名 法人21団体

- ・ 会報誌の発行
- ・ メールマガジンの配信
- ・ 木工品等特典の配布



木工品（ペン立て）

◇ パスモ電子マネーによる募金

○都営地下鉄構内の自動販売機等での
 PASMO売上金の一部を募金に充当

令和4年度末の累計38,539,652円



◇ 東京マラソンチャリティ

○東京マラソンチャリティ事業を通じた募金活動
 募金を活用し森林整備等の森づくり体験イベントを
 実施

寄付金額 114,143,195円
 (平成24～令和4年度分)

◇ キャッシュレス対応の推進

○従来の募金方法に加えて「花粉の少ない森づくりホームページ」より「クレジットカード決済」での募金受付を開始

○PRイベント等での木工体験の参加費について「PAYPAY」による決済扱いを開始

花粉の少ない森づくり運動の今後の展開(案)

イベント・展示等を通じて、都民・企業等へ「森林の大切さ」、「花粉の少ない森づくり」について普及啓発

花粉飛散時期PR

※ブースでのPR等、一部の活動については推進委員会の開催前より実施

○異業種との連携イベント

- ・クライミング施設（CARAMBA）で多摩産材を使用したクライミング用ホールドのアクセサリーづくりと丸太ぎりチャレンジを実施
- ・X（旧Twitter）のヤクルト宅配公式アカウント上で、リポスト（旧リツイート）数に応じて商品のプレゼントと花粉の少ない森づくり募金への寄付を行うコラボレーションキャンペーンを実施



CARAMBAでのイベント



ヤクルトとのコラボキャンペーン

○イベント等を活用したPR

- ・あきしま環境緑化フェスティバルのイベント会場においてブースを出展し、森林の役割などの解説パネルの設置や木工教室等を開催



あきしま環境緑化フェスティバル



東京マラソンチャリティブース

○東京マラソン チャリティ事業でのPR

- ・東京マラソン2024
チャリティランナーの応援を通じて運動のPR

○デジタルサイネージによる動画・静止画の掲出

- ・都庁第一本庁舎2階や新宿駅周辺のデジタルサイネージにPR動画や静止画を掲出

花粉飛散時期PR

※ブースでのPR等、一部の活動については推進委員会の開催前より実施

○展示ブース等の設置

様々な施設において、森林の役割などの解説パネルの展示等により、花粉の少ない森づくり運動を普及啓発

- ・山のふるさと村
- ・TAKAO 599 MUSEUM
- ・檜原おもちゃ美術館

○ポスター等の掲出

- ・高尾ほか各ビジターセンター
- ・きらぼし銀行
- ・ECOM駿河台
- ・東京都檜原都民の森
- ・国営昭和記念公園
- ・木材会館
- ・木材
- ・合板博物館
- ・東京都薬用植物園
- ・TOKYO MOKUNAVI
- ・都営地下鉄10駅（都営新宿線九段下駅・馬喰横山駅等）



展示ブース
(檜原おもちゃ美術館)



木工体験
(TAKAO 599 MUSEUM)

○森林循環への理解促進のための説明

「企業の森」等のイベント時に、「森林循環」への理解を促進するために二酸化炭素の吸収・固定をなどをパネル等を用いてわかりやすく説明。参加者の「森林循環」や「花粉の少ない森づくり運動」への理解促進と意識啓発を図る。



「企業の森」イベントでの説明

○都庁第一本庁舎1階中央部アートワーク台座でのパネル展示

年間を通したPR

○クレジットカードによる募金の受入れ

マラソンチャリティの入金をはじめ、募金の円滑な受入れを図る。

○東京マラソンの森イベント

森づくり支援倶楽部との共催で植樹、トレイルランニング、ウォーキングを実施



東京森づくりチャンネル画面

○YouTube(東京森づくりチャンネル)により動画配信

花粉の少ない森づくりへの興味と理解の促進を図る。

○森づくり支援倶楽部の運営

会員向け森林体験イベントの開催や会報誌・メールマガジンの発行、木工品の進呈等、引き続き、運動の啓発と支援の輪の拡大を図る。



東京マラソンの森での植樹



森づくり支援倶楽部の記念品

○東京レガシーハーフマラソン

ブースの出展を通して運動をPR

年間を通したPR

○PR冊子「森づくりについて考えよう」の活用

小学校の「地球温暖化対策と森づくり」についての授業等で活用されており、希望する小学校や団体等に配布

○PR冊子「企業の森・電子かわら版」の発行

「企業の森」協定中の企業・団体等へ森の状況を配信

○花粉の少ない森づくり運動のHPでの取組紹介

木工体験イベントや「企業の森」森林整備イベント等の情報を掲載し、花粉の少ない森づくり運動の取組をPR

○「花粉の少ない森づくり」募金箱設置によるPR

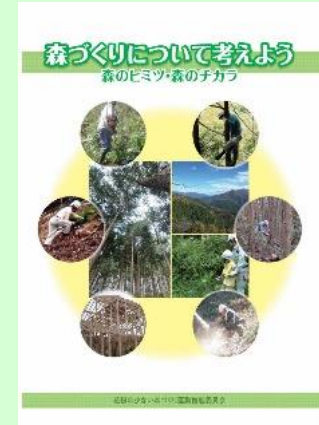
多摩産材で製作した募金箱をイベント時や都庁舎内に設置し、花粉の少ない森づくりへの支援の一層の拡大を図る。

○「森づくり」のイベント支援

企業が実施する森づくりイベントを技術面・安全面でサポート

○東京農林水産フェアでのPR

木工体験イベントや丸太切りチャレンジを通して運動をPR



PR冊子



募金箱
(都庁舎内に設置)